



Laos Vientiane Saysettha Operation Management Co.,Ltd.

合作



革新

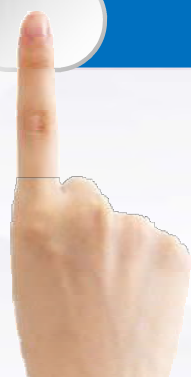
連携

win-win



# ラオスビエンチャン サイセター総合開発区 のご紹介

招商運営部 徐露





# 目次

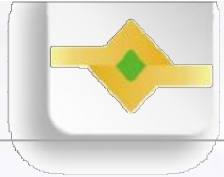
CONTENTS

- 1 会社概要
- 2 開発区の概況
- 3 入居企業の紹介
- 4 ラオスにおける中日連携



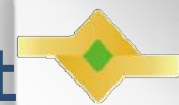
# 会社概要

## 会社概要 | ラオ中連合投資有限会社



- ラオ中連合投資有限会社---雲南建設投資グループ (75%) + ビエンチャン市政府 (25%)
- 設立: 2010年11月18日      資本金: 1.28億ドル      主要な役割: 投資+建設

## 会社概要 | ラオスビエンチャンサイセター運営管理有限会社

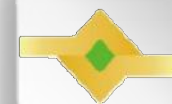


➤ ラオスビエンチャンサイセター運営管理有限会社

--- ラオ中連合投資有限会社 (60%) + 招商局集团 (40%)

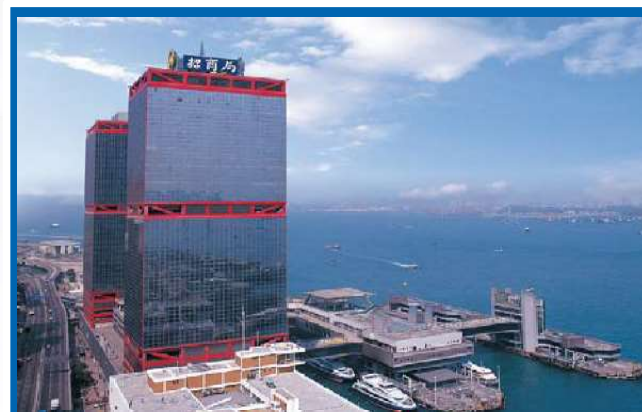
➤ 設立: 2018年8月2日      資本金: 100万ドル      主要な役割: 運営+管理

## 会社概要|中国資本の紹介



### 雲南建設投資グループ

設立：1951年      資本金：272億元  
総資産：3326億元      社員数：約3万人  
本社：雲南省昆明市      子会社：61社  
主な事業内容：建設事業、開発事業等  
雲南企業100強ランキング1位  
中国企業500強ランキング146位



### 招商局集團 (CMG)

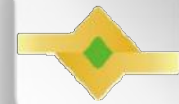
設立：1872年      資本金：137億元  
総資産：77000億元      社員数：約10万人  
本社：香港      子会社：22家  
主な事業内容：交通運送、金融投資、不動産  
中国の中央企業No.1  
世界企業500強ランキング280位



02

# 開発区の概況

## ◀ 開発区の概況|サイセター情報



### ★中国とラオス両国政府が合同確定した 国家級プロジェクト

中国---海外経済貿易合作区 (20ヵ所)  
ラオス---国内で唯一の国家級経済特区(12ヵ所)

#### 概要:

開発プラン---2012年~2030年

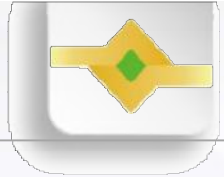
総面積---1150ha

計画投資額---50億ドル





## 開発区の概況|地理的な優位性



## Saysettha サイセター PROFILE

450周年大通り・13号線・3号線---隣接

ビエンチャン市内---14Km

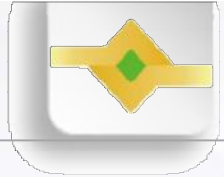
ワットタイ国際空港---19Km

ラオスータイ第1友好橋---14Km

中国ラオス鉄道貨物駅---1.5Km

中国ラオス鉄道旅客駅---3Km

## 開発区の概況|政治的な経緯



当時中国の習近平副主席とラオスのブンニャン副主席のご列席の下、雲南建設投資グループ、中国国家開発銀行、ラオスビエンチャン市政府は《ラオスの首都ビエンチャンの総合開発プロジェクトの協定書》を締結した。

2010-6

2011-8

ラオス政府は《首都ビエンチャンにサイセター総合開発区を設立することについての決定》を発布したことにより、サイセター総合開発区が国家級の経済特区に指定された。

中国ラオス両国は北京で《中国政府とラオス政府がビエンチャンサイセター総合開発区の協定に関する協定書》を締結した。

2012-7

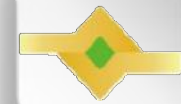
中国商務部と財政部はサイセター総合開発区が国家級の経済特区とする公文書を認可した。

2016-8

ラオス総理府はサイセター総合開発区が177法令による税制優遇政策に執行できると確定した。

2018-10

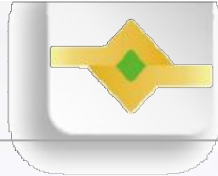
## 開発区の概況|協定書



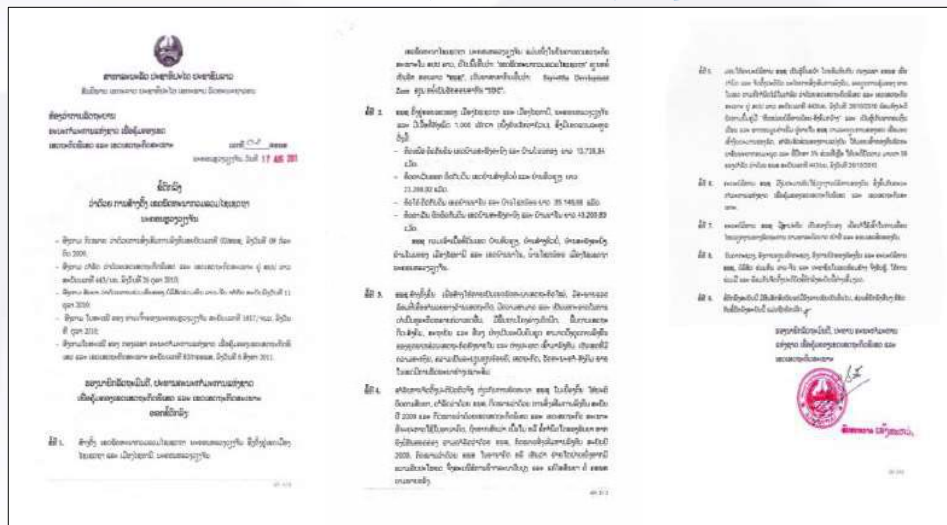
2010年6月、当時中国の習近平副主席とラオスのブンニャン副主席のご列席の下、雲南建設投資グループ・中国国家開発銀行とラオスビエンチャン市政府は《ラオス首都ビエンチャンの総合開発プロジェクトの協定書》を締結した。



# 開発区の概況|政府からの支持



## ラオス政府からの支持



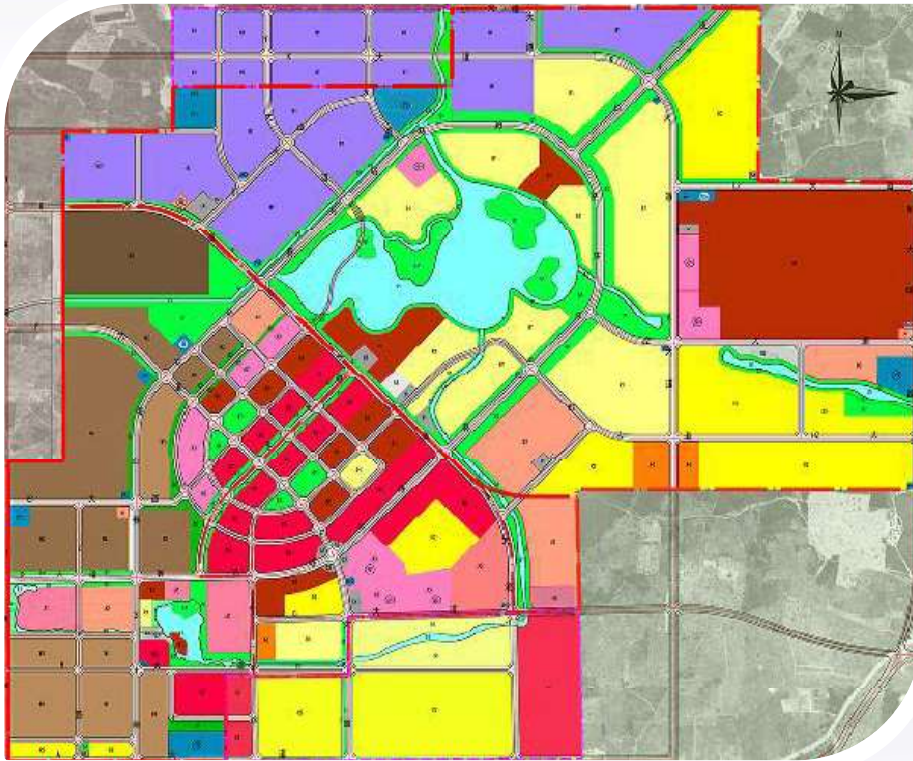
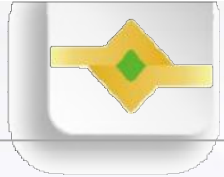
2011年8月、ラオス政府は《首都ビエンチャンにサイセター総合開発区を設立することについての決定》を發布したことにより、サイセター総合開発区が国家級の経済特区に指定された。

## 中国政府からの支持



2016年8月、中国商務部と財政部はサイセター総合開発区が国家級の海外経済貿易合作区とする公文書を認可した。

## 開発区の概況|発展計画



### 全体計画--- “1城4区”

Vientiane New Industrial Eco-city  
International Capacity Cooperation  
Area

Demonstrative Area of China-Laos  
Cooperation

Core Area of Vientiane New City  
Harmonious Residential Area

### 産業分布:

第1期---製造業

第2期---商業・貿易、サービス業

第3期---不動産

~ 産業連携と融合効果を促進~

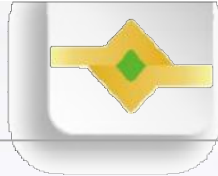
~ ビエンチャン新都心を目指す~

## 開発区の概況|総合保税區



- ラオス・中国鉄道の開通に伴う物流需要の拡大を考えた上で、総合保税區を發展させる予定
- 将来大手物流企業の投資による総合的な物流サービスの利用が可能（倉庫保管、車上通関場所の提供、テナント、鉄道貨物、輸出混載など）
- この総合保税區の中にICDや税関を導入することで、各企業様に便利な物流サービスを提供することができる

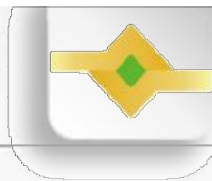
# 開発区の概況|优惠政策



- 2018年10月25日、ラオス首相府は「サワンセノ経済特区の管理規則及び奨励政策に関する首相令第177号」の優遇措置をサイセター総合開発区に同様に適用すると認めた。
- ラオス国内12ヵ所の経済特区の中、4つだけこの優遇政策が享受できる。



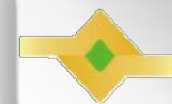
# 開発区の概況|優遇措置



## 税制上の優遇

項目	万象赛色塔综合开发区内		开发区外
法人税	製造業	1.輸出比率により、免税期間は5-10年間、終了後8%; 2.ラオス原料50%以上使用する場合、始めの2年間4%	24%
	貿易・サービス業	免税期間は2年間	
	公的機関	免税期間は5年間	
輸入関税	建設資材・プラント・材料・部品---免除		一般商品 5-40%
輸出関税	一律0%		0%
付加価値税	海外の製品を輸入し開発区内で使用・加工・生産販売する場合---免除		10%
	輸出用の商品を輸入する場合---免除		
	特区内の商品・サービスを特区外で販売する場合---10%		
個人所得税	一律5%		0-24%
その他	半額		関連税法による
<b>GSP (特惠関税制度)</b>	世界中の42ヵ国はラオスに対し一般特惠制度を与えている。その中に、EUのほうが一番優遇		

## ◀ 開発区の概況|ワンストップサービス

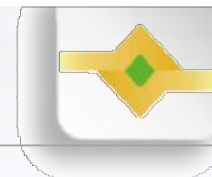


### ビエンチャン市経済特区

#### 管理委員会

- ビエンチャン市政府は開発区に管理委員会を設立し、開発区内のあらゆる行政業務を担当しながら、入居企業に徹底的なワンストップサービスを提供している。
- 対応言語：中国語・英語・日本語・ラオス語  
招商運営部スタッフ：15名

## 開発区の概況|ワンストップサービス



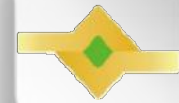
### 手続きの簡素化

管理委員会は以下の行政サポートを丁寧に対応できる。ワンストップサービスを提供することで、良好なビジネス環境を構築して上げたい。企業新設の場合（営業許可証、規則認証、印鑑作成、税務登記証）：開発区内で**15日間必要**（営業許可証3-5日間），費用約**1500ドル**；開発区外で**1-2ヵ月**，費用**3000-5000ドル**。

#### 協力可能な書類

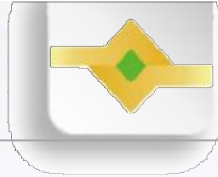
営業許可証	規則認証	印鑑作成
税務登記証	土地権利証明書	環境影響評価許可証
施工許可証	建築内部改修許可証	就職ビザ、在留資格、往復ビザ
輸入許可証	輸出許可証	原産地証明書
商標	特許	バーコード

## 開発区の概況|進展



- 3万㎡の工場と4万㎡のサービス施設が完成し、各企業様にレンタル工場や事務所貸出といったサービスが提供されている。その中にオフィスビル、行政サービスセンター、宿舎、レストラン、コンビニ、銀行ATM、自動販売機などが含まれる。
- 第1期400haの敷地では、インフラ整備（道路・電気・給水・通信・排水）が全部完成
- 2019年8月の時点で、すでに72社が契約済み、7ヵ国・地域（中国、日本、アメリカ、ラオス、タイ、マレーシ、中国香港）に及び、投資総額10億ドルを上回り、用地面積120haを超えた。

# 開発区の概況|インフラ整備



## 開発に必要な条件

- 開発区はラオス政府が發布したEIA(環境影響評価許可)を獲得し、開発理念もラオスの環境保護政策に一致



## 開発区の概況|インフラ整備

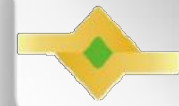


### 土地政策

- ラオス政府は2015年9月にサイセターの土地  
使用権における正式な許可証を発行
- 土地使用期間を70年間に定める  
(2010年10月14日～2080年10月14日)
- 土地使用期間の延長を申請中 (99年間)



## 開発区の概況|インフラ整備



操業を急ぐ・初期投資を抑えたい企業様向け

外観

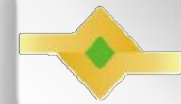


内観



3万㎡のレンタル工場の建設は完成したが全部貸し済み  
2019年まで新たに4万㎡のレンタル工場の建設は完成する見込み

## 開発区の概況|インフラ整備

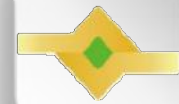


### 道路

- 第1期---全長18kmの道路建設が完成  
メイン道路の幅---38m  
二次道路の幅---32m
- ラオス国内のベストなアスファルト道路
- 第2期と第3期の道路は現在建設中、今後全ての道路の開通が期待される



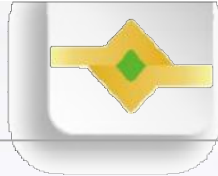




### 電力供給

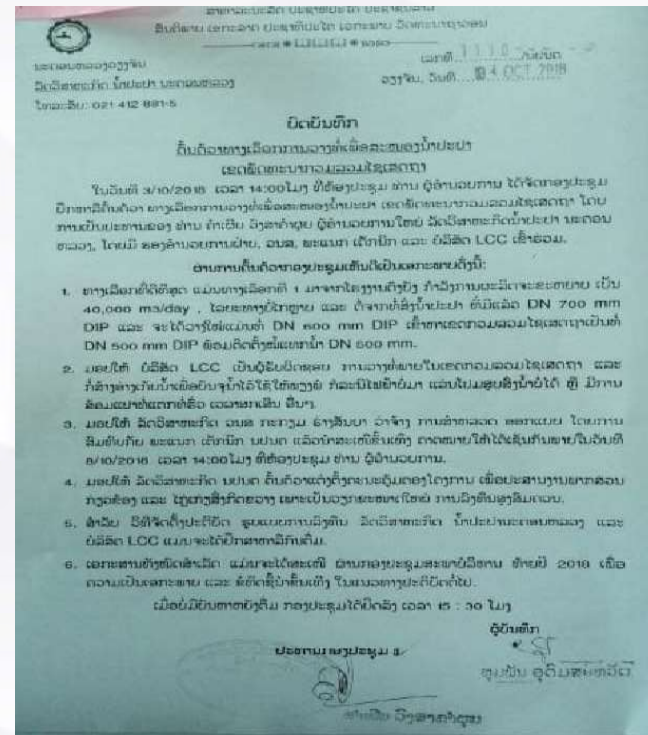
- 既存変電所---22KV
- 2019年に115KVの送電線を引き込むことにより  
→ 十分な電力供給可能
- 工業電気料金---0.08ドル / Kwh



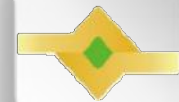


### 水の供給

- 現在6000m<sup>3</sup>/日提供可能
- 2018年10月に、ラオス水道局は Dong Buang水道工場からサイセターへ新たな送水管を引き込むと許可  
今後30000 m<sup>3</sup>/日利用可能
- 工業用水料金---0.37ドル / m<sup>3</sup>



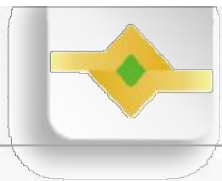
## ◀ 開発区の概況|インフラ整備



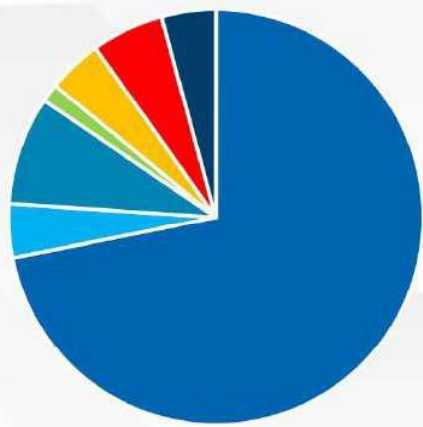
### 宿舎

- 2棟8,000㎡
- 5階建て108 部屋  
1,600 人入居可能
- 設備: 各部屋 (8人入り)  
ベランダ・トイレ付き  
キッチン・食堂が共用
- 今後同じ標準の宿舎 (6-8棟)  
が建設する見込み





### 国別の分布



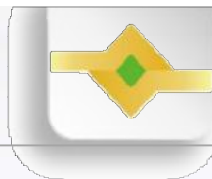
- 中国-51社
- ラオス-6社
- マレーシア-3社
- 日本-3社
- 香港-3社
- アメリカ-1社
- タイ-4社

### 中国・タイ・ベトナム プラスワン

今後中国企業の産業移転先と海外進出先として、注目されつつある  
中国企業

投資額3億ドル（全体投資額の46.73%を占めている）HOYAの入居を機に、今後日系企業への呼び込みに力を入れていきたい  
日本企業

## 開発区の概況|主要産業



クリーン  
エネルギー



電子製品



縫製



農産品加工



物流・保税



製薬・医療

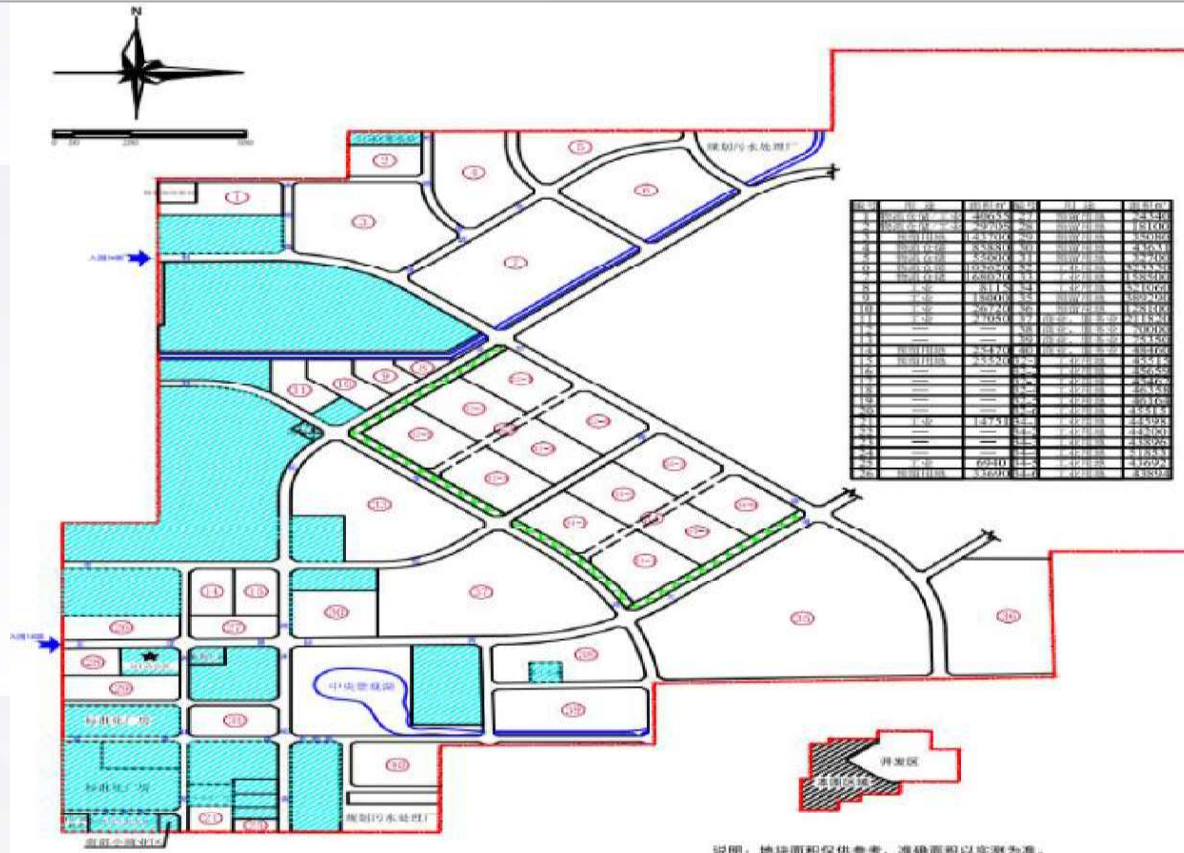
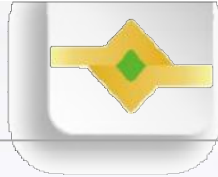


統括経済



商業  
サービス業

# 開発区の概況|最新の販売状況

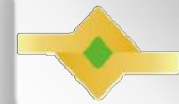


## 投資手段

- 1、土地使用权譲り渡し
- 2、土地使用权リース
- 3、レンタル工場



# 開発区の概況|レンタル工場の利用状況



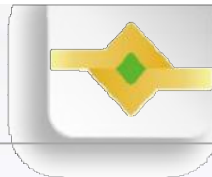
増築レンタル工場: 44160m<sup>2</sup>



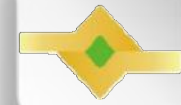
# 入居企業の ご紹介



# 展示場



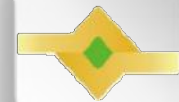
## 入居企業紹介-日本



### Hoya Laos Co.,Ltd.

2018年HOYAは、約3億ドルを投じてサイセターに新工場（約20ha）を建設する。2020年6月までの稼働を目指し、IT世界大手が運営するデータセンターなど向けに3.5インチのHDD用ガラス基板を生産する。生産能力が限界に近づいているベトナム工場とのリスク分散を図る狙い。

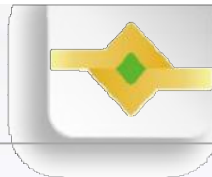
## ◀ 入居企業紹介-中国 + ラオス



### Laos Petro-chemical Co.,Ltd.

2014年に進出を決め、ラオス初の石油精製プロジェクトとして注目を集めた。このプロジェクトは28haの土地を使用し、投資総額が約15億ドル、今後年間200万トンのガソリンとディーゼル・オイルの生産が見込まれる。

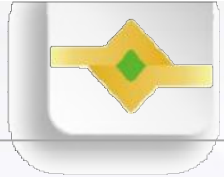
## ◀ 入居企業紹介-日本 + ラオス



### Gas One Laos Co.,Ltd.

2018年4月25日、GAS ONEはサイサン株式会社の持ち株会社として正式に入居を決めた。1945年に設立されたサイサン株式会社は、長い間エネルギー供給に従事してきた東日本最大の天然ガスエネルギーサプライヤーだ。主に液化石油ガスの貯蔵と販売を中心に事業を展開している。総投資額は約500万ドルで、現在は土地の整地が完了した。2019年9月に着工を始め、2020年に稼働する予定。

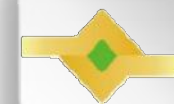
## 入居企業紹介-中国



### Lao-China Railway Co.,Ltd.

2018年すでに契約済み、詳しい設計も完成。このプロジェクトは6.7haの土地を使用し、中国ラオス鉄道の運営管理に十分な支援を提供でき、サイセター開発区の知名度と影響力を引き上げる。

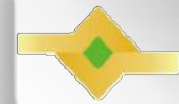
## 入居企業紹介-中国



### ラオス寮中紅塔好運タバコ有限会社

2017年4月に進出を決め、現在プロジェクトを準備している。本社---雲南省のタバコ大手会社紅塔グループ。寮中紅塔本部の進出により、新型タバコ製造の研究開発センターの設立が期待される。

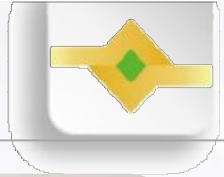
## ◀ 入居企業紹介-中国



### **New Hope lao Co.,Ltd.**

2013年に中国の大手農産企業である新希望グループは開発区に新希望ラオス有限会社を設立し、年間20万トンの飼料を生産できる工場がすでに稼働している。プロジェクトの規模は敷地約3ha、投資総額約1600万ドル。

## ◀ 入居企業紹介-中国 + ラオス



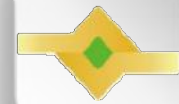
### Laos Testing center of Constuction Quality Co.,Ltd.

2014年に雲南建設投資グループとラオス科学省の合同出資により、設立された合併会社。建築面積-5000㎡、投資金額-800万ドル

ラオス国家級の建設工程研究センターとして、建設工程に関する標準や規則の作成に取り組んでいる



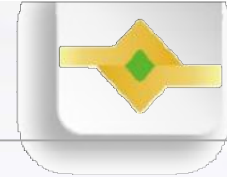
## 入居企業紹介-中国+ラオス



### Lao Communication Technology Co.,Ltd.

2018年に設立された合併企業【中国航空神禾科技（北京）有限公司とラオス公安省】。主に通信機器の生産と販売を行う。資本金-800万ドル，投資金額-3400万ドル，敷地面積-3ha。2018年11月に工場の建設をスタートし、2019年12月までの稼働を目指す。

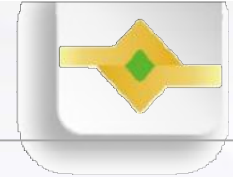
## 入居企業紹介-カナダ+中国+ラオス



### Laos Alliance Pharmaceutical Group Co.,Ltd.

2017年7月に進出を決め、現在工場の建設を行っている。このプロジェクトの総面積は7haで、3期に分けて投資される。総投資額は6000万ドルを見込み、EUのGMPと米国のFDA標準を参照し、薬製品の生産を行う。第1期の生産は2019年からスタートし、2021年に第2期の生産に進み、2022年に第3期の生産を始める予定。

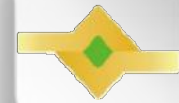
## 代表企业简介-香港+ラオス



### **Golden Wisdom(Laos) Pharmaceutical Co.,Ltd.**

2019年1月に進出を決め、現在  
整地を行っている。このプロジェク  
トの総面積は7haで（総投資額3000  
万ドル）、3期に分けて投資される。  
2020年稼働する予定。

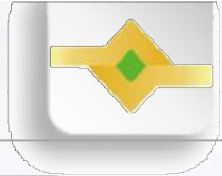
## ◀ 入居企業紹介-タイ



### East Indigo Co., Ltd.

2017年4月に正式に進出した南アジアの縫製企業。主に有名なジーンズブランドARMANI・LEEのOEM生産を行う。プロジェクトは3期に分かれ、投資額は約800万ドルで、すでに第1期11000㎡の工場の建設が完成し、2018年に9月から生産運営が始まっている。

◀ 入居企業紹介-タイ・アメリカ

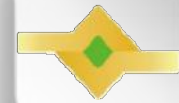


**RS International Welding Electrodes Co.,Ltd.**  
タイ アーク溶接棒



**Jaykal LED Solutions(Laos)Co.,Ltd.**  
アメリカ LED照明器具

## ◀ 入居企業紹介-農産品加工



**BBL (Laos) Agricultural Resources Co.,Ltd.**  
中国 マンネンタケ粉



**Wah Yuen Foods(Lao) Co.,Ltd.**  
中国香港 ビーフジャーキー

# 入居企業紹介-建築業

